

令和7年度 山田中学校 学校運営協議会 実施報告

1 学校の概要

学校名	都城市立山田中学校		校長名	加治屋 輝昭	
学級数	8学級	児童生徒数	174名	職員数	23名
教育目標	バランス感覚に優れ、自ら考え行動し、ふるさとを愛し、未来を切り拓く生徒の育成				

2 学校運営協議会に関わる組織

(1) 委員 (計9名)・事務局 (計3名)

No.	所属名 (役職)	氏名	備考
1	元山田中PTA会長	藤森 勝美	会長
2	山田地区民児協会長	米吉 春美	地域コーディネーター
3	山田民生児童委員協議会会長	及川 達郎	
4	山田地区自治公民館連絡協議会会長	平山 良照	
5	山田地区社会福祉協議会事務局長	新穂美代子	
6	都城市中霧島小学校長	蓑毛 隆洋	
7	元山田中PTA会長	椎屋 圭介	
8	山田中PTA会長	川元 勝史	
9	山田まちづくり協議会会長	福重 昭弘	

事務局	役職	氏名
	校長	加治屋 輝昭
	教頭	高岡 伸吾
	事務副主幹	中村真由美

(2) 組織編制



3 活動報告

月 日	主な活動及び内容
4月	・学校運営協議会委員選出
5月11日	・第1回愛校作業 (学校支援ボランティアの会) *親子奉仕活動
5月26日	・第1回山田中学校学校運営協議会
6月27日	・福祉体験学習に伴う支援 (都城市社会福祉協議会、山田地区社会福祉協議会)
7月1~3日	・秋田県潟上市学校間交流事業 (まちづくり協議会)
7月28日	・第2回山田中学校学校運営協議会 (兼 第1回山田ブロック学校運営協議会)
10月10日	・第3回山田中学校学校運営協議会
12月18日	・地域貢献活動 (まちづくり協議会) *1, 2学年
12月9日	・第4回山田中学校学校運営協議会
2月16日	・第5回山田中学校学校運営協議会
3月10日	・地域貢献活動 (まちづくり協議会) *3学年

4 今年度実施した「熟議」のテーマ（小中合同学校運営協議会を含む）

10月：「地域貢献ボランティア活動」

5 学校運営協議会の意見を生かした特色ある取組

(1) 学校支援活動

① 学校行事等への支援活動

秋田県潟上市の中学校間交流事業において、事前指導や記念石碑と夜学跡の清掃、石川理紀之助や用水路造りに携わった方々の勉強会に、かかし笑劇団やまちづくり協議会の方々の協力をいただいた。



【石川理紀之助勉強会】

② PTA活動への支援活動

年2回計画している愛校作業（親子奉仕作業）に、学校支援ボランティアの会にも支援を要請し実施した。

(2) 教育課程の改善（カリキュラム・マネジメント）

① キャリア教育として、地元の魅力ある仕事の事業所が関わってほしいという意見を受けて、山田町内外の4事業所に来校していただき、職業講話を行った。



【1年福祉体験学習】

② 総合的な学習の時間に、1年生は福祉体験学習、2年生は職場体験学習を実施した。福祉体験学習では社会福祉協議会の方の協力をいただいて、講話や体験活動を行った。職場体験学習では山田町内外19事業所の協力をいただいて、2日間の体験活動を行った。

(3) 地域貢献活動

① 山田かかし村祭りの清掃ボランティア、当日の活動、吹奏楽部のステージ演奏等、生徒や教職員が参加した。

② 山田地区まちづくり協議会主催の朝の一斉ラジオ体操（夏休み）の体操サポートボランティアや地域の様々なイベント活動など、積極的な地域貢献活動を行った。



【地域貢献ボランティア清掃】

③ 学校運営協議会委員や地域の方々の意見を取り入れながら協議、計画を進め、生徒会企画による地域貢献ボランティアを実施した。自分の住んでいる地域ごとに分かれて、各地域の施設（駅や公園など）の清掃作業等を行った。3年生については、県立高校入試後（3月10日）に実施予定。

6 学校運営協議会の成果と課題（○：成果 ●：課題）

- 地域の方が授業に協力することで、教員だけでは難しかった体験学習やキャリア教育の充実が図られ、学校運営に意見が反映されることで、パートナーとしての自覚を持つようになった。
- 人材不足や時間の制限等を持続可能な活動にすることや、地域や保護者が「自分たちの楽しみや利益」として参画できる仕組みにすることが課題である。

7 次年度の方向性

- 今後も学校運営協議会を通して地域の意見を聞きながら、学校行事やカリキュラムを改善し、地域の広報誌やホームページ等に学校の様子を発信したり、地域に貢献する活動を増やしたりすることで、地域への理解を深め、連携を強化していく。